

各 位

平成 29 年 10 月 12 日
 東京都港区六本木四丁目 4 番 8 号
 株式会社ワイズテーブルコーポレーション
 代表取締役会長兼社長 金山 精三郎
 (コード番号：2798 東証第二部)
 問合わせ先責任者 常務取締役執行役員 平尾 健治
 (TEL 03-5412-0065)

**特別損失の計上、平成 30 年 2 月期第 2 四半期連結業績予想と実績値との差異
 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は平成 30 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 29 年 3 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日）におきまして、下記の通り特別損失を計上することとなりました。

また、平成 29 年 4 月 17 日に公表いたしました平成 30 年 2 月期第 2 四半期連結業績予想と本日公表の実績値において、下記のとおり差異が生じました。

あわせまして、最近の業績動向等を踏まえ、通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容および金額

当社運営の「XEX DAIKANYAMA」等につきまして減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失として特別損失 47 百万円を計上いたします。

2. 平成 30 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,328	百万円 224	百万円 260	百万円 181	円 銭 68.24
今回発表実績 (B)	7,083	46	77	3	1.26
増減額 (B - A)	△245	△178	△183	△178	—
増減率	△3.3%	△79.5%	△70.3%	△98.2%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 2 月期)	7,708	266	272	162	61.11

(差異の理由)

売上高につきましては、「XEX」をはじめとする高級レストラン事業においてレストランウェディングが伸び悩んだほか、前回予想時には短期的な回復を見込んでいたカジュアルレストラン事業の一部既存店舗の不調の影響が長期化したことにより前回予想を下回りました。利益面については、売上の剥落による影響のほか、当初の予想よりも人材関連コストが高騰したことより、前回予想を下回りました。また、特別損失 47 百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益も予想を下回りました。

3. 通期連結業績予想の修正

(1) 通期（平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 14,390	百万円 367	百万円 439	百万円 281	円 銭 105.64
今回修正予想（B）	14,065	149	216	95	35.87
増減額（B－A）	△325	△218	△223	△186	—
増減率	△2.3%	△59.3%	△50.7%	△66.0%	—
（ご参考）前期実績 （平成 29 年 2 月期）	14,911	300	360	199	74.97

(2) 修正の理由

平成 30 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間の実績を反映するとともに、同期間と比較して下期の売上は減少傾向にあるものの、コストの削減と高級レストラン事業における利益率の改善、及びカジュアルレストラン事業における出店計画等にもとづき、当該部門について予想を見直すことにより、通期の連結業績予想を修正するものです。

（注）業績予想については、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上